



お知らせ

◆ぎおん柏崎まつり花火大会の交通規制について◆

本年も7月26日(火)「ぎおん柏崎まつり海の大花火大会」が実施されます。

会場周辺の大変な混雑が予想されるため、**柏崎港～マリーナ前～国道8号線鯨波交差点**の間の道路を花火大会当日の「**16時から24時までの間**」車両通行止め規制とし、花火見物用のシャトルバスを運行して少しでも花火大会時の混雑を緩和させる計画となっています。

通行止めの各地点には、警察官や祭り主催者等の交通誘導員が立っております。たとえ利用者と言えどもその時間帯はマリーナの出入りができませんので、この時間帯にどうしてもマリーナへの出入りをしたいという方には、事前申請により祭り主催者から発行された「**通行許可証**」をお渡しいたします。

必要な方は**7月18日(月)**までにマリーナへお申込みください。ただし、「花火打ち上げ会場周辺」は通行許可書があっても通行できませんので、ご注意ください。

また、マリーナへの出入りは極力「**規制時間外**」に行うようにし、一度マリーナ内に入場したら規制時間内はできるだけ出入りをしないようにしてください。

※花火大会当日の陸上および海上交通規制図等は、時期が近づきましたらマリーナに準備いたしますので必ずそちらをご覧ください。



◆夏季イベントのお知らせ◆

○キス釣り大会

以下の日程でKMOC主催のキス釣り大会を開催いたします。詳細はマリーナにある実施要領をご覧ください。

【日 時】 7月10日(日) 午前4:30受付開始 ~ 午前11:00終了
【申込締切】 7月 3日(日)



○マリーナフェスティバル (夏季会員懇親会)

恒例となりました「夏季会員懇親会」を開催いたします。内容は以下の様になっておりますので、皆様お誘い合わせの上ご参加ください。利用者の皆様には後日ご案内をお送りいたします。

【日 時】 8月6日(土) 17:45~20:00位まで

【内 容】 生ビール、ワイン、ソフトドリンク、ステーキ、オードブル等のビュッフェスタイル。
会場では生バンド演奏もあります。

【会 費】 大人4千円(アルコールなしは2千円) / 中学生以下1,000円、未就学児 無料(会費は当日徴収)
【締 切】 8月3日(水)



◆外駐車場の有料化のご案内◆

例年通り、マリーナの外駐車場が7月23日(土)～8月16日(火)位までの予定で有料となりますので、ご注意ください。

◆会議室の土・日・祝日等の一般開放について◆

夏季期間中の土・日・祝日に、管理棟2F会議室を一般開放いたします。暑くなるこれからの時期に合わせ室内を冷房しておりますので、ご休憩等にご利用ください。(気温が30℃以下となる場合は、開放しない場合もあります。)

【一般開放日】 7月16日～9月11日の土・日・祝日・お盆期間中(8月13日～16日)

【開放時間】 午前 8 時 30 分～午後 5 時くらいまで(ただし、会議室利用予約がある場合は開放しません)

【その他】 開放時室内は禁煙・禁酒とします。

◆マリーナの利用ルールの遵守について◆

新潟県柏崎マリーナでは、利用者の皆様が快適に施設をご利用いただけるよう利用に関するルールが定められております。ご自分では問題がないと思っている行為も、他の利用者の方から見れば迷惑に感じる行為もありますので、もう一度利用ルールを読み直していただき、特に以下に該当するような行為があれば誠に謹んで下さいますようお願い申し上げます。

【許可されていない船舶等について】

“許可されていない船舶等”(水上バイクやトレーラーなど※船台も含む)のマリーナ施設内への持ち込みや駐車、または一時係留などは禁止です。 ※「船台」は船が積載されていないものも該当します。

【指定区域以外でのバーベキューや施設内での釣り行為】

利用ルール内の『**その他利用上の注意事項**』として以下の行為を禁止又は遵守するよう明記されています。

- ・マリーナ内における釣り及び遊泳は禁止します。
- ・バーベキュー等火を使うものについては、マリーナに連絡した上で指定された場所で行ってください。

【港内での引き波について】

利用ルール内の『**航行上の注意事項**』として以下の行為が禁止されています。

- ・出入港時は十分に速力を落とし、係留中の船や付近を航行中の船に引き波などで影響を及ぼさないようにしてください。

※今後これらの行為を職員が発見した場合には、厳重に注意した上で関係許可者の「利用許可取り消し」を行う場合がありますので、十分にご注意ください。

ビジターさんいらっしゃい!

(当マリーナに寄港された「ビジター利用」の皆様の一部をご紹介しますコーナーです)

【来港日2011年4月27日(行)、5月12日～14日(帰)】

先日、柏崎マリーナにモーターボートでの長距離航海者の寄港がありました。

寄港した船の名は「DENBER II」(ヤンマーFX24)、オーナーの「崎幸男さん(64)」は、和歌山県内で建設業を経営しておられ、ホームポートの「フィッシャリーナ那智」では年間100日近く出港するほど大の釣り好き。今回の“旅”も“25ftの船外機ボートで日本一周をした兵庫の伊藤清悟氏”なる人物の存在をインターネットで知り、そのホームページを参考に長年の夢だったマイボートでの日本一周を決意し、その手始めとして今回1か月の予定で航海計画を立てたそうです。

実はその背景には、平成17年の規制緩和により、「もっと気軽に長距離航海を!」をスローガンに、日本沿岸の5海里以内を航行域とする「沿岸小型船」が創設され、今まで制約が多かった長距離航海にも気軽にいられるようになったことも大きく影響しているのではないのでしょうか。

とはいえ、崎さんの船に搭載されている燃料タンクの容量はわずか90ℓと長距離航海に使用するにはあまりにも頼りないものです。海の状況にもよりますが、仮に平均速度20ノットで走ることができた場合、このクラスの船の時間当たりの燃料消費量を20ℓとすると「一回の給油での航続距離約165km、航行時間約4時間半程度」という計算になります。

「一日5時間の航行で200km」という崎さんの目標には燃料が少し足りませんが、船内には予備タンクが約100ℓ分積んであるため、途中で燃料を補充しながらほぼ予定通りに航海を続けているそうです。

多くの長距離航海者が、一日のスケジュールを「朝9時頃出港し、午後2時頃までには次の港に入港する」と決めているのは、操船・係留・給油・食料調達・調理・船体整備などの作業をすべて自分たちで完結しなければならないためです。先を急ぐあまり、単純なミスで航海自体を断念せざるを得ない事態を起こすよりも、毎日を「着実に安全に過ごす」ことが航海を楽しむ秘訣なのかも知れません。



崎さんとデンバーII



給油中のようす



エンジンオイル交換のようす



右は自船の存在を相手船に知らせる「レーダー反射器」

さて、今回の崎さんの航海計画をご紹介しますと、和歌山～瀬戸内海～関門海峡～日本海北上～新潟県（直江津港、柏崎マリーナ、新潟港）～青森～北海道（利尻島、礼文島）～日本海を南下。（行き・帰り共に寄港）舞鶴で上架し和歌山まで陸送。（※当初崎さんが最終目的地としていた「日本最北端の島、利尻島・礼文島」にはお仕事の関係で行けなかったようです）

実は今回の計画に際し奥さんは反対だったそうですが、タイミングを見計らい(?)会社は息子さんに任せて半ば強引に出発してきたとのこと。震災で一時は計画を断念しかけたことが、太平洋側を通らないルートに計画を変更し、今回実行に移したそうです。

皆様の中には、同じようにマイボートでの長距離航海を計画している方もいらっしゃると思います。しかし、「長距離航海には大きな船が必要」というお考えの方も多いことと思いますが、このように24ft程度のモーターボートでも6000kmの行程を1か月で回ることが現実に行われています。予算は観光や買い物、食事など使い次第ではありますが、一日の殆どを船上で過ごす一人旅では、予算の大半は燃料代です。しかも、先述の伊藤氏のように燃費の良い4サイクル・ガソリン船外機船であれば、もう少し予算を抑えることができるでしょう。

気になる予算は、1か月で60～70万円程度（一日の食費その他雑費：7000円、燃料代：13000円）を見ており、食料は数日おきに寄港地のコンビニなどで購入し、3日に一度は疲れを取るためビジネスホテルで宿泊。また、船の艙装で工夫した点は特にないとのことでしたが、GPSプロッターと、陸上での移手段に使う折畳自転車、燃料を入れる携行缶（18ℓ）などは必要とのこと。特に最近のGPSは精度も良く、画面上に地名や海の駅、潮汐データ等の情報が高精細な液晶画面で表示されますので、安心して航海を楽しむことができます。

今回、マリーナ初のモーターボートでの長距離航海者の寄港ということで、たいへん興味深いお話をお聞きすることができました。一見すると艙装に特別なものもなく、行き先を聞かなければ長距離航海者と分からないほど普段使いのまま航海に出てきたような印象を受けるほどでした。

DENBER号の崎さんも、「これを見てもっと多くの方々が長距離航海に出かけるようになってほしい。」また、「考えているよりもまずは行動することが大事」とのアドバイスをいただきました。



船内のようす。



愛用の折畳自転車。電動アシストタイプならなお良いでしょう。



同じ船を持つマリーナのメンバーと情報交換しているようす。



帰路、低気圧通過のためマリーナで3日間の足止めを余儀なくされました。

工場だより

◆蜂の巣作りによる給排水口の“詰まり”被害について…

暑い日が続く季節になると、『モーターは動いているのに、トイレやデッキウォッシュの水が出ない?』といった修理依頼が毎年必ず発生します。

当然、ポンプ部の機械的不具合によるものもありますが、この時季の不具合の多くは、ホースの奥深い箇所やポンプの入り口付近に土や葉っぱが詰まることによるものです。

こうなると、水道の水圧程度では給排水経路が開通することはまずあり得ません。これらは、どうやら「土蜂」と呼ばれる蜂の“巣作り”が原因のようで、土蜂は丸い穴の閉鎖空間を見つけると、そこに獲物を抱え込み蓋をする習性があるらしく、船底にある給排水口などの小さい穴は、土蜂にとってはまさに巣作りには最適の場所となるようです。

このようなトラブルを防ぐには、給排水バルブを閉じていただくことが一番有効です。これは、すでに巣が作られ穴が土などで詰まっても、入り口付近であれば簡単に除去することができるからです。

さらに、バルブを閉めておくことにより、“万が一の浸水防止”と日頃から必要に応じ動かすことで“バルブの固着を防ぐ”予防にもなります。

船底の穴にテープを貼っておくという方法もありますが、剥がし忘れによるトラブルの可能性もありますので、ご注意ください。



これはトイレの給排水ポンプです。



ポンプの経路に、このような土状のものが詰まっています。



蜂は船底の給排水口から侵入し巣を作ります。



陸上保管中は船底にあるバルブを閉じて下さい。

掲示板

◆盗難防止対策についてのお願い◆

このたび、艇の中に保管してあった釣竿等が盗難にあったとのご連絡がありました。皆様方におかれましては、これまでもお話しさせていただいていたように、持ち運びできるものについてはできるだけ艇の中に保管されないようお願いいたします。

なお、被害に遭われた方ともご相談し、警察に通報させていただきました。

◆東日本大震災の義援金募集について◆

柏崎マリーナでは、このたびの東日本大震災に関連して、3月から窓口にて義援金の受付をさせていただいておりましたが、このたび当初の受付期限が到来いたしましたので、一端募集を締め切らせていただきました結果、

これまで**31,266円**のご協力をいただきました。集まりました義援金は、すでに全額新潟県の県民募金へ送金させていただいております。

今回の義援金の募集にあたり、たくさんの皆様から善意をお寄せいただきましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。

なお、義援金の募集は引き続き継続したいと存じますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

